

ねぎ・わけぎの病害防除に

# ダコニール 1000

ダコニールは株式会社エス・ディー・エス バイオテックの登録商標です。



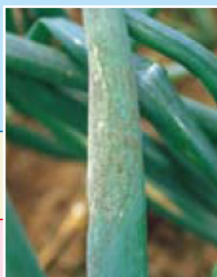
ねぎ・苗立枯病(リゾクトニア菌)防除では、セル成型育苗トレイ・ペーパーポットにも使用OK!



## 育苗期にしっかり防除!



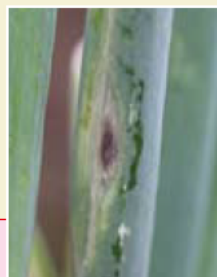
苗立枯病(リゾクトニア菌)



べと病



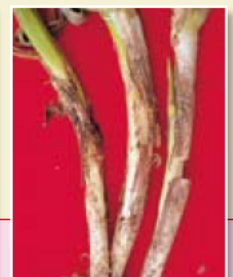
さび病



黒斑病



葉枯病\*1



小菌核腐敗病\*2  
土寄せ時に株元を中心に十分量を散布

出芽揃い後(出芽3日後から10日後まで)に使用してください。

## 定植後から同時防除!

写真原図：\*1 角野、\*2 三澤



# ねぎ・わけぎの病害防除に

病害写真と防除に  
役立つ情報満載!



# ダコニール 1000

ダコニールは株式会社エス・ディー・エス バイオテックの登録商標です。

有効成分：テトラクロロイソフタロニトリル(TPN)…40.0%w/w 性状：類白色水和性粘稠懸濁液体



daco-club.com



## ねぎ・わけぎの適用病害と使用方法(抜粋)

### 散布剤として使用する場合

作物名	適用病害名	希釈倍数	使用液量	使用時期*	本剤の使用回数*	使用方法	TPNを含む農薬の総使用回数*
ねぎ	黒斑病、べと病、 小菌核腐敗病、葉枯病、さび病	1000倍	100~ 300ℓ/10a	14日	3回	散布	4回(土壌灌注:1回、散布:3回)
わけぎ					2回		3回(土壌灌注:1回、散布:2回)

\*印は収穫物への残留回避のため、その日まで使用できる収穫前の日数と、本剤及びその有効成分を含む農薬の総使用回数の制限を示しています。

### 1 育苗期の苗立枯病、べと病、さび病をしっかり防除!

育苗期から  
ダコニール1000!

### 2 定植後に発生するべと病などもしっかり防除!

春まき栽培では  
ゴールデンウィーク前後に  
ダコニール1000!

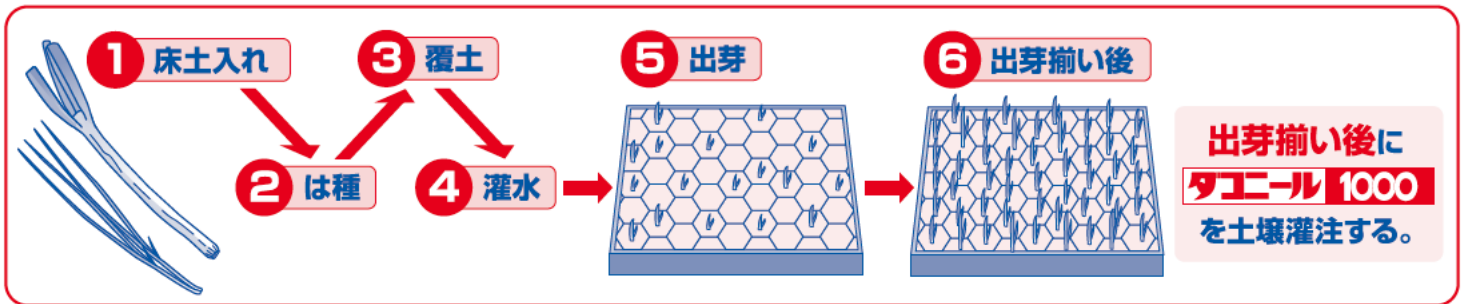
### 3 梅雨や秋雨期の同時防除が重要!

ダコニール1000で  
べと病、黒斑病、葉枯病、  
さび病をまとめて防除!

### 土壌灌注剤として使用する場合

作物名	適用病害名	希釈倍数	使用液量	使用時期*	本剤の使用回数*	使用方法	TPNを含む農薬の総使用回数*
ねぎ	苗立枯病 (リゾクトニア菌)	500倍	0.5ℓ/m <sup>2</sup>	出芽揃い後 (出芽3日後から 10日後まで)	1回	土壌灌注	4回(土壌灌注:1回、散布:3回)
わけぎ			0.5ℓ/m <sup>2</sup>				3回(土壌灌注:1回、散布:2回)

\*印は収穫物への残留回避のため、その日まで使用できる収穫前の日数と、本剤及びその有効成分を含む農薬の総使用回数の制限を示しています。



#### △ 効果・薬害等の注意 (抜粋)

- 使用前に容器をよく振ってください(沈殿)。
- 石灰硫黄合剤との混用はさけてください(分解)。
- ストレプトマイシン剤及びホセチル剤と混用する場合、必ず本剤を先に所定の濃度に希釈してからそれぞれの剤を加えてください(凝集沈殿)。
- ねぎ及びわけぎに土壌灌注する場合は、種時から出芽直後の処理はさけてください(生育抑制)。
- 使用量・使用時期・使用方法を誤らないように注意し、特に初めて使用する場合は、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましい。

#### △ 安全使用上の注意

- 誤飲に注意してください。
- 眼に入らないように注意してください。眼に入った場合には直ちに水洗し、眼科医の手当を受けてください(刺激性)。
- 皮膚に付着しないように注意してください。皮膚に付着した場合には直ちに石けんでよく洗い落とすしてください(刺激性)。
- 夏期高温時は使用をさけてください。
- 散布の際は農薬用マスク、手袋、不浸透性防除衣などを着用するとともに保護クリームを使用してください。作業後は直ちに身体を洗い流し、うがいをするとともに衣服を交換してください。作業時に着用していた衣服等は他のものとは分けて洗濯してください。
- かぶれやすい体質の人は作業に従事しないようにし、施用した作物等との接触はさけてください。
- 周辺の桑葉にはかからないようにしてください(蚕毒)。

#### 魚毒性等…

- 魚類に強い影響を及ぼすおそれがあるので、河川、湖沼及び海域等に飛散、流入しないよう注意して使用してください。養殖池周辺での使用はさけてください。
- 甲殻類に影響を及ぼすおそれがあるので、河川、養殖池等に飛散、流入しないよう注意して使用してください。
- 使用残りの薬液が生じないように調整を行い、使いきってください。散布器具及び容器の洗浄水は、河川等に流さないでください。空容器等は水産動植物に影響を与えないよう適切に処理してください。
- 漏出時は、保護具を着用し、布・砂等に吸収させ回収してください。
- 移送取扱いは、ていねいに行ってください。
- 保管…直射日光を避け、食品と区別してなるべく低温で乾燥した場所に密封して保管してください。

●ラベルをよく読んでください。●ラベルの記載以外には使用しないでください。●小児の手の届く所には置かないでください。●空容器は圃場などに放置せず適切に処理してください。

この印刷物の記載内容は2018年7月末日現在のものです。

2018年7月作成(東京)

30H7G18D150:T

# ダコニール 普及会